

令和元年10月30日

## 多発する自然災害から子供たちを守るために

### ～教員を目指す大学生と創る「防災教育開発プログラム」を実施します～

国土交通省では、近年多発する大規模災害をふまえ、教育委員会・学校等と連携・協力して防災教育の支援に係る取組を強化しています。

学習指導要領が改訂され、学力に対する考え方も大きく見直されるなかで防災教育も強化されることになり、単なる防災知識の「伝達」から、「学力」と「防災」とをどう関連づけるか、新たな課題への模索がはじまっています。

そこで、教員を目指す長崎大学教育学部学生に対して、教員としての防災・減災に関する深い知見・知識等を身につけてもらうとともに、教職に就いた際、児童が主体的に自然災害から命を守るための資質・能力を育てる授業を展開できるようになることを目的として、長崎大学教育学部、国土交通省長崎河川国道事務所・雲仙復興事務所、及び気象庁長崎地方気象台が協働し、本プログラムを実施します。

学校での防災教育は多くの取り組み事例がありますが、教員養成課程向けに実践する防災教育プログラムは国内でも数が少なく、必修科目として必ず学生が履修するものとしては、履修規模も含め、全国に例をみない取り組みです。

講義は、1年生（約200名）を対象に、別紙日程で3日間実施予定です。学生を2クラスに分け2限目と4限目に実施します。

#### ■取材について

当日の講義は、報道機関のみの公開となります。

テレビカメラ等による撮影は、講義の妨げにならないようご配慮願います。

#### ■問い合わせ先：

（防災教育に関すること）

国土交通省 長崎河川国道事務所 調査第一課長 松山 兼二

電話（代表） 095-839-9211

国土交通省 雲仙復興事務所 調査課長 宮脇 正彦

電話（代表） 0957-64-4171

気象庁 長崎地方気象台 水害対策気象官 平田 勝貴

電話（代表） 095-811-4862

（学校への取材に関すること）

長崎大学 教育学部 准教授 井手 弘人

電話（代表） 050-3569-1011

### 【1日目】

■日時：令和元年11月1日（金） 2限 10時30分～12時00分  
4限 14時30分～16時00分

■場所：長崎大学教育学部 3階 31番教室

#### ■内容（予定）

- ・「主旨説明」 長崎河川国道事務所
- ・「気象情報について」 長崎地方気象台
- ・「火山防災について」 雲仙復興事務所

### 【2日目】

■日時：令和元年11月8日（金） 2限 10時30分～12時00分  
4限 14時30分～16時00分

■場所：長崎大学教育学部 3階 31番教室

#### ■内容（予定）

- ・「防災教育について」 長崎河川国道事務所
- ・「防災マップづくり（まち歩き）について」 長崎河川国道事務所
- ・ 防災に対する知識と授業設計の方路について 長崎大学  
※防災マップづくりのまち歩きは、別日に実施します。

### 【3日目】

■日時：令和元年11月22日（金） 2限 10時30分～12時20分  
4限 14時30分～16時00分

■場所：長崎大学教育学部 3階 31番教室

#### ■内容（予定）

- ・「ポスターセッション（成果発表会）」



- 班ごとに「まち歩き」を行い、災害リスクのある場所を調べ、避難所の位置を確認し、避難する時に増水していたら危険な箇所等を確認し、防災マップを作成します。
- 班ごとにポスターセッションを行い、色々な班の意見を聞き、学生一人一人の“気づき”を深めていきます。
- 教師である自分たちがもつ知識をもとにして、児童が自ら気づき、防災を「自分ごと」として捉え、深めていくための授業を、具体的にデザインし、発表します。